

第3期 中京区基本計画(案) 意見募集冊子

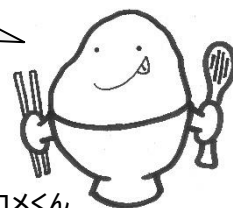
The Master Plan of Nakagyo Ward

2021 >>> 2025

意見募集期間

令和3年3月15日(月)
～4月30日(金)

皆様からの御意見を
お待ちしております！



パプコメくん

意見の提出方法 インターネット又は本冊子に挟み込んだ意見募集用紙を御利用ください。なお、他の用紙でも結構です。

ホームページ <https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/>

メールアドレス nakagyo@city.kyoto.lg.jp

FAX送付先 075-812-0408

郵 送 〒604-8588 中京区役所 地域力推進室 企画担当 宛

持 参 中京区役所1階 区民ホール設置の特設ボックスに投函

お問合せ先 中京区役所 地域力推進室 企画担当 (☎075-812-2421)



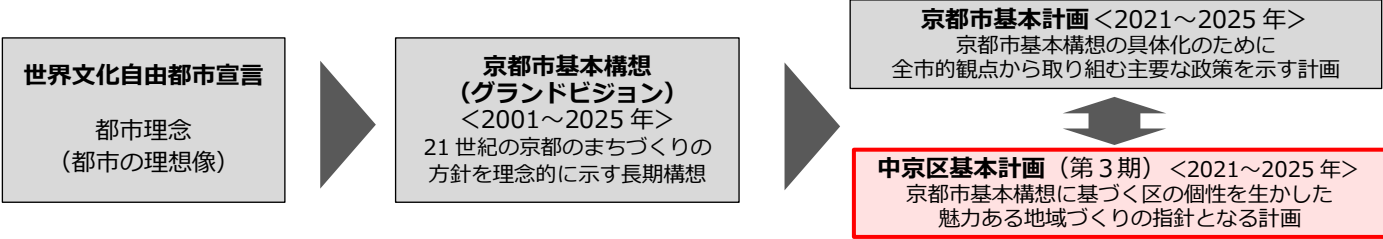
インターネット回答はこちらから

※ 意見の取扱い：お寄せいただいた御意見につきましては、個人に関する情報を除き、内容を公開する場合があります。
また、御意見に対する個別の回答は致しませんので御了承ください。

「中京区基本計画」は、今後5年間のまちづくりの指針となる計画です。これまで、区内の各分野でまちづくり活動をされている方を中心に構成した「中京区基本計画推進会議」、「中京区基本計画検討ワーキンググループ」での議論に加え、「中京マチビト Café 特別編」や「区民意見募集」などを実施しながら策定を進めてまいりました。この度、パブリックコメントを実施し、広く区民の皆様から御意見を募集します。皆様からお寄せいただいた御意見を下に、さらにより良い計画としてまいりますので、皆様の御意見をお聞かせください。

計画の概要

本計画は、区の将来像やまちづくりの目標を区民の皆さんや事業者、大学等と行政が共有し、まちづくりを進めていくための指針であり、さまざまな主体と行政が共に汗を流して協働する「共汗型計画」です。本計画は、「世界文化自由都市宣言」の都市理念の下、「京都市基本構想（グランドビジョン）」に基づくとともに、全市的な未来像と主要な政策を明示した「京都市基本計画」とは同列・相互補完の関係にあります。



計画の構成



策定に当たってのトピックス

世界的感染症への対応

コロナ禍により、生命や健康だけではなく、従来までの社会システムや産業構造、人々の生活様式や行動、意識も大きな変革を求められています。

ICT 社会の進展

「新しい生活スタイル」の推進など、ICT（情報通信技術）などの最先端技術を取り込んだ、新たな社会の在り方や、社会的な価値の創造をより一層推進する必要があります。

環境問題への対応

2050 年までに二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向けた取組など、持続可能な地球環境づくりのための具体的なアクションを起こしていかなくてはなりません。

レジリエンス

さまざまな危機からの回復力、復元力、強靱性（しなやかな強さ）のあるまちづくりが求められています。

自然災害の頻発

地球温暖化による自然災害の頻発や大規模地震の発生に備え、日頃から地域の防災力を高めておく必要があります。

人口減少・年齢構成の変化

人口の増加が鈍化する一方、少子化や長寿化、単独世帯の増加等により家族形態が変化しつつあります。

危機的な財政状況

現在の非常に厳しい財政状況を踏まえ、事業の選択と集中を行うだけではなく、区民や事業者等の皆さんと協力しながら、事業運営を行う必要があります。

持続可能な開発目標(SDGs)とは？

2015 年の国連サミットにおいて採択された、「誰一人として取り残さない」世界の実現を目指して国際社会が共通に掲げた普遍的な目標です。

中京区では、SDGs という世界共通のものさしで設定された目標を次期基本計画にも組み込み、各まちづくり戦略を SDGs 項目と関連付けて、「誰一人孤立させない地域社会」を目指して取組を推進していきます。

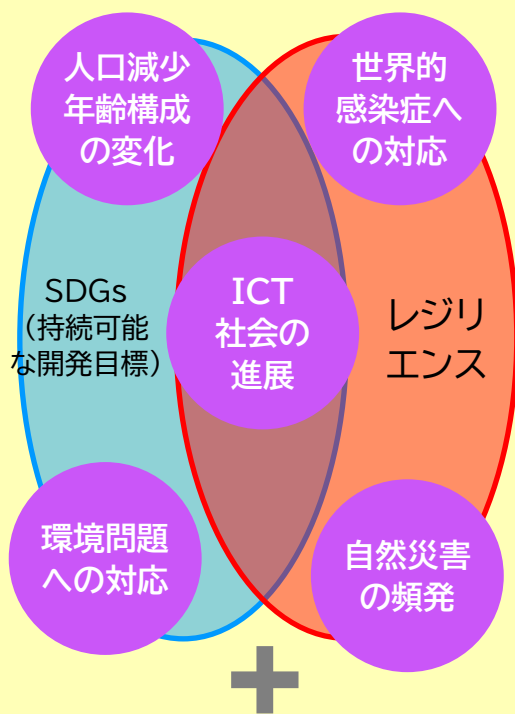


まちづくりの目標(理念)

「響きあう 人・まち・文化 中京区」
～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～

時代の潮流・喫緊の課題

分野横断的に今日的な社会情勢を踏まえた事項



危機的な財政状況

今後のまちづくりの方向性

めざすべき中京区の将来像を設定

将来像1 コミュニティの活性化と交流の促進

- 自治会・町内会をはじめとした地域活動の担い手を増やすなど、地域コミュニティの活性化と交流の促進に取り組んでいきます。
- 誰一人孤立させない地域社会をめざし、すべてのひとがお互いを尊重し、認め合い、共生できるまちづくりを進めていきます。
- 地域全体で子育てを応援する等、安心して子育てできるまちづくりを推進していきます。

将来像2 地域個性の継承と創造

- 地域ごとの豊富な歴史的・文化的資源を守り、次世代へ継承するとともに、地域の個性を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。
- 企業や大学等多様な主体が活躍できる環境づくりを進め、スタートアップ・エコシステム(※)を形成することで、社会課題の解決や新たな価値の創造によるにぎわいづくりに取り組んでいきます。

※ 複数のスタートアップ企業や、大企業、投資家等の多様な関係者が結び付き、循環しながら広く共存共栄していく仕組み

将来像3 次世代につなぐくらしと環境の創出

- 災害や犯罪、感染症など、日常生活を脅かすあらゆる脅威に対応すべく、「地域力」、「区民力」を結集・発揮した安心・安全なまちづくりを進めていきます。
- 2050 年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向け、さらなる省エネ、ごみ減量の普及はもとより、エネルギー消費や RE100(※)など、区民ひとりひとりが生活を見直し、環境負荷を低減させる持続可能なライフスタイルへの転換に取り組んでいきます。

※ 事業者等が事業運営に使用する電力を 100%再生可能エネルギーで賄うことをめざす取組の総称

具体的な取組内容(まちづくり戦略)は
4～7ページを御覧ください

まちづくり戦略1 ポストコロナ社会に対応した柔軟で開かれた地域組織づくり

世代や分野を超えて、すべてのひとや団体が、それぞれのくらしや活動のなかで、生きがいとともに創り、お互いを尊重し合うことのできる、だれもが健やかでいきいきと笑顔あふれる地域共生社会の実現をめざします。



① 開かれた地域組織づくりと新しい地域活動の模索

- 自治会等の活動内容や地域の魅力等の情報発信の支援
- 自治会・町内会におけるSNS等を活用した先進的な情報発信事例の紹介
- 地域活動におけるスマートフォン活用講座等の開催

② 自治会・町内会への加入率の向上

- 自治会等の役割や地域活動についての効果的なPRの実施
- 自治会等の活動内容や地域の魅力等の情報発信の支援（再掲）
- 自治会・町内会の加入率向上や地域コミュニティへの参加促進に向けた取組への支援

③ 居住形態を超えた地域交流の促進

- 各学区のマンション防災活動への支援
- 自治会等に参加していない住民と加入している住民の交流事業への支援
- 自治会・町内会への加入に向けた地域とマンション等の開発事業者との連携の促進



④ 子ども・若者の地域参加と次世代の担い手の育成

- 体育振興会によるスポーツ事業や地域の文化活動への支援
- 地域の歴史文化が体験できる地域の祭りや行事等への子どもや若者の参加促進

⑤ 新たな担い手の発掘と活躍できる場づくり

- 中京区版「地域人材バンク」など、スキルや経験等をもつ人が活躍できるしくみの検討
- 地域の歴史文化が体験できる地域の祭りや行事等への子どもや若者の参加促進（再掲）



⑥ 地域組織の新しいあり方の模索

- 自治会・町内会、学区、校区、行政区等のさまざまな単位での地域交流の促進
- NPO、事業者、大学等の多様な主体との連携の促進
- 大学との包括協定を生かした学生が地域課題の解決に取り組むしくみの検討

まちづくり戦略2 だれもが互いに認め合い、支え合えるコミュニティづくり

世代や分野を超えて、すべてのひとや団体が、それぞれのくらしや活動のなかで、生きがいとともに創り、お互いを尊重し合うことのできる、だれもが健やかでいきいきと笑顔あふれる地域共生社会の実現をめざします。



① 地域で取り組む健康長寿のまちづくり

- フレイル（※）対策など、健康づくりに関する情報発信、学習会の開催
- 地域の福祉団体や体育振興会が取り組む健康づくりの取組への支援
- 地域で健康づくりの活動を支援するボランティアの育成

② 人権文化の息づくまちづくり

- 人権文化の構築に向けた情報発信の充実
- 人権擁護委員と連携した相談体制の強化や啓発の実施

③ 誰一人孤立させない地域づくり

- 当事者の課題への理解と意識の向上につながる啓発の実施
- 地域の福祉団体等が取り組む見守り活動への支援
- 地域における福祉活動の担い手の育成



④ 世代を超えた地域交流の促進

- 地域における交流の場づくりや交流事業への支援
- 地域における支え合い活動の周知・啓発の推進

⑤ 支援者ネットワークの強化と連携

- 支援者ネットワークの強化と連携による分野横断的な支援体制の充実
- 多様な主体が連携・協働して取り組む活動への支援



⑥ 将来の担い手を育み、コミュニティをつないでいく学びの場づくり

- 学校や地域団体等と連携した子どもたちへの学びの機会の創出
- 地域における福祉活動の担い手の育成（再掲）

※ 加齢により心身が衰えた状態。ただし、早期に対策を行えば元の健康な状態に戻る可能性がある。

まちづくり戦略3 地域ぐるみでの子育て環境の充実

地域ぐるみで子育て支援体制を強化するとともに、子どもたち自身の成長や子育てを通じた保護者の学びを後押しすることで、保護者が不安を抱えず楽しみながら子育てができる環境づくりを進めます。

① 安心して子育てができる環境づくり

- ・ 子育てに関する情報発信・講座の充実
- ・ 不妊・不育への支援、妊産婦・新生児の家庭訪問やICT（情報通信技術）の活用も含めた様々な機会での相談など子育て支援体制の充実
- ・ 子育て世代が交流できる機会の提供

② 地域における子育て支援活動の活性化

- ・ 保健師や保育士等の専門職の派遣や大学等との連携による地域の子育てサロンへの活動支援
- ・ 地域の子育て支援団体やボランティア団体への活動支援

③ 子どもの学びを応援する多様なしくみづくり

- ・ 学校を拠点とした地域における子どもの居場所づくりの推進
- ・ 地域行事への子どもたちの参加促進

④ 子育てから広がる学びの環境づくり

- ・ 親子で区内の歴史や文化を学べる機会の提供
- ・ 子育て世代が交流できる機会の提供（再掲）

⑤ 子育てネットワークの充実

- ・ 関係機関・団体のネットワークの強化とさらなる連携の拡大
- ・ 地域の子育て支援活動と多様な主体の連携促進



まちづくり戦略4 地域ごとの歴史文化を生かした個性あるまちづくり

中京区では、地域ごとに伝統行事が脈々と受け継がれてきたことで、まちに一体感が醸成され、地域のまとまりが生み出されてきました。「地域の宝」を未来に継承するとともに、地域の個性を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。



① 歴史文化の再発見と継承

- ・ 地域のくらしの文化に関する学習会やイベントの実施
- ・ 親子で地域の祭りを楽しめる取組への支援
- ・ 地域の祭りや伝統行事に関する情報の収集と発信

② 地域個性の再認識と発信

- ・ 地域の文化資源を巡るまち歩きツアーの実施
- ・ 元離宮二条城をはじめとする地域の歴史遺産や文化の担い手支援と魅力の発信
- ・ 地域の魅力を発信する担い手の発掘と活躍の場づくり

③ 伝統産業の活性化

- ・ 伝統産業を体験・見学できる工房見学ツアーの実施
- ・ 現代の生活に伝統産業品を取り入れる実践例の発信

④ 歩いて楽しいまちなかの創出

- ・ 「通り」やくらしの文化に関する情報の発信
- ・ 地域の団体や学校と連携した「通り」の安全を確保する取組の推進

⑤ 景観を生かしたまちづくり

- ・ 地域景観づくり協議会の活動など、地域で展開される取組の発信
- ・ 町並みを生かした交流事業の支援



まちづくり戦略5 買い・ものづくり・学問のつながりが生み出すにぎわいづくり

多様な主体が活躍する中京区の強みを最大限に発揮し、ポストコロナ社会への対応も含め地域や社会のさまざまな課題の解決に取り組むなかで、スタートアップ・エコシステム(※)の形成による全国に発信できるような、先導的な課題解決のモデルづくりにも挑戦していきます。



① 魅力ある個店の集積を生かしたまちづくり

- ・ 伝統産業体験など、次の世代を担う若者の目利き力を養う取組の推進
- ・ 新たな魅力を創造する若手商業者や老舗の挑戦的な取組の発信

② 協働による商店街の活性化

- ・ 商店街が学生や地域住民を巻き込んで実施するまちづくり活動への支援
- ・ 区民のくらしを支える商店街の利用の呼びかけやにぎわいづくりへの支援

③ 大学との連携

- ・ 市民講座等大学の実施する地域貢献イベントとの連携
- ・ 大学の教育・研究活動や地域活動を望む学生と地域団体等とのマッチング

④ 地域企業との連携

- ・ 次代を担う若者が地域企業と交流する機会の創出
- ・ 地域企業が新たな商品・サービスを開発するきっかけとなるNPO、地域住民、学生とのオープンな対話の場づくり

⑤ スタートアップ・エコシステムの形成と社会課題解決型ビジネスの集積

- ・ 社会的企業との連携によるイチバンボシギフト等の事業の推進
- ・ 地域課題や社会課題解決のための多様な主体が集い協働・協創する場の創出



※ 複数のスタートアップ企業や、大企業、投資家等の多様な関係者が結びつき、循環しながら広く共存共栄していくしくみ

まちづくり戦略6 安心・安全に住み続けられるまちづくり

中京区が誇る高い「地域力」、「市民力」を結集・発揮することで、今後もだれもが経験したことのない危機的状況が起こったとしても、安心・安全に住み続けられるまちづくりを推進します。



① 安心・安全ネットワークの充実

- ・ 区内の関係機関と地域、事業者が連携した安心・安全の取組の実施
- ・ 地域における防犯活動や見守り活動への支援

② 防災・減災に向けた日常的な協力関係の構築

- ・ 感染症の影響も想定した防災対策の確立と地域住民による実践型防災訓練の開催支援
- ・ 要配慮者(乳幼児や妊産婦、高齢者、障害者等)の避難支援の取組の促進

③ 歩行者優先のまちづくりと交通マナーの確立

- ・ 親子で楽しく交通ルールやマナーを学べるイベントの開催
- ・ 地域の団体や学校と連携した「通り」の安全を確保する取組の推進(再掲)

④ 観光客へのマナーの普及

- ・ 観光資源の魅力の背景にあるくらしの文化の発信
- ・ 関係者と連携した外国人観光客に対するマナー情報の発信

⑤ 空き家活用の促進

- ・ 司法書士等の専門家と連携した情報発信
- ・ 空き家の適正管理対策と活用に取り組む地域への支援
- ・ 区役所での空き家等活用相談窓口の実施



まちづくり戦略7 持続可能なライフスタイルの継承・発展

2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向け、国内外から多くのひとが訪れる、伝統と進取の気風をもつ中京区から、環境に配慮したライフスタイルやまちなか緑化の取組を推進し、広く発信していくことにより、持続可能な社会の実現に貢献します。



① より環境負荷の低い消費・販売・生産活動への転換

- ・ エシカル消費（倫理的消費）（※）など、環境に配慮した消費行動の普及啓発
- ・ 家庭・事業所での省エネルギーの取組促進

② 昔ながらのくらしの知恵の再発見

- ・ しまつの心やおばんざいの食文化など、「くらしの知恵」の発信
- ・ 家庭や地域で実践されているエコ活動の先進事例の発信

③ 環境に配慮した交通手段の利用促進

- ・ 過度にクルマに依存しないライフスタイルの普及啓発
- ・ 自転車ルール・マナーの改善を呼びかける啓発の実施

④ 緑化とまちの美化の促進

- ・ 家庭や事業所における屋上やベランダ、庭先での緑化の促進
- ・ 次代を担う子ども向けの緑化や生物多様性も含めた環境に関するイベントの開催
- ・ 区民ぐるみで進める環境美化活動の促進



※ 消費者それぞれが社会課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと

計画推進のしくみ

各戦略に取り組むための体制やプロジェクトを整理

役割1 地域課題の発見と担い手の発掘

ステップ1 発掘

まちづくり活動への支援や交流の場を中京クーチャーセンター（※）の中に取り込み、さまざまな個人・団体の取組等にアプローチすることで、クーチャーセンターの機能を拡大し、地域課題の発見や課題に取り組む担い手を発掘します。

対話の場を開く

役割2 多様な主体の対話と協働の促進

ステップ2 対話

クーチャーセンターにおいて担い手と課題解決に必要な地域資源（ひと・情報・場所等）をつなぎあわせるクーチャーセッション（対話の場）を開き、協働を促します。

プロジェクトを創出

役割3 新たなアクションの創出

ステップ3 行動

関係団体等の取組とも連携しながら、課題解決に向けたアイデアやしくみ、PJ（プロジェクト）を生み出します。

※「中京クーチャーセンター」

中京区の多様な担い手と地域資源をつなぎ、対話と協働の“場”であり、区（まち）の未来を一緒につくるアクションを対話によって創出するしくみです。

★中京クーチャーセンターの詳細は、中京区役所のホームページをご覧ください。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/cmsfiles/contents/0000201/201416/tirasi.pdf>

中京区で現在進行中の取組

中京区民ふれあい事業



子どもから高齢者まで、区民相互の交流を深めるために、自治連合会・各種団体で構成する実行委員会が、地域コミュニティの活性化に向けて、多彩な事業を展開しています。

中京ベビーズサポートマーケットプロジェクト



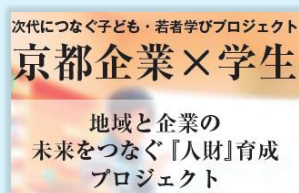
乳幼児と親が楽しむ「ベビサポ広場」の開催や、子育てに関する情報発信等を行うことにより、子育てを楽しむまちづくりに取り組んでいます。

通りの復権と歩いて楽しい まちなかの創出



クルマ中心のライフスタイルからの転換を図り、安心安全に往来でき、区民の日々の暮らしや生業の空間としての魅力ある「通りの復権」をめざして、地域や学校等とも連携しながら、さまざまな取組を実施しています。

地域と企業の未来をつなぐ 人財育成プログラム



これから就職を考える学生を対象に「地域と企業の未来をつなぐ『人財』育成プログラム」を、地域企業や関係団体等と連携して実施しています。

「誰かのために何ができる」防災事業



地域の自主防災組織等と協力しながら、実践的な避難所運営訓練の実施等を通して、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

京都みつばちガーデン推進プロジェクト



区民ボランティアや大学との協働により、区役所の屋上庭園でニホンミツバチを飼育し、自然の豊かさを教えてくれるミツバチとの「共生」という考え方から、まちなかの緑化を呼びかけ、緑豊かなまちをめざしています。